

# 多まなび

 放送大学 東京多摩学習センターだより第23号 2019年4月発行



「多摩の風景6－高尾山－」 齋藤文孝

発行 放送大学東京多摩学習センター 〒187-0045 東京都小平市学園西町1-29-1

TEL : 042-349-3467 E-mail : [tama-sc@ouj.ac.jp](mailto:tama-sc@ouj.ac.jp) URL : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tama/>

# 新任のご挨拶



東京多摩学習センター所長・特任教授

ごみ まさのぶ  
五味 政信

この4月より坂内徳明所長の後任として着任しました五味と申します。東京多摩学習センターがこれまで蓄積してきた多くの知見を継承し、学生の皆さんにとってのより良い学習・研究環境をさらに整備・提供すべく、私も努力したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

私は一昨年度から「ベトナム語の初歩：文字と発音編」「外国語としての日本語」の2つの面接授業科目を東京多摩学習センターで担当しています。また、昨年8月からは客員教員として学習相談業務も担当してきました。この2年間を通して、放送大学に所属する学生の皆さんが年齢構成においても職業構成においても、たいへん多様性に富んでいること、旺盛な向学心と深い問題意識のもと熱心に授業に参加し勉学に励んでいることを実感しました。ベトナム語の授業では、20代から80代までの学生さんが受講し、真摯に課題に取り組んでいる姿を目の当たりにしました。「外国語としての日本語」の授業では、授業の終わりの20分間近く、多くの学生さんが多様な視点から質問してくださり、クラス全体の学びと思索を深めることができました。私は4つの大学で30有余年、日本語教育、ベトナム語教育の分野で語学教員として教壇に立つてきましたが、面接授業でのこれらの経験はたいへん新鮮であり、大いに感激したことが印象に残っています。

学習センターには様々な役割があります。面接授業、単位認定試験の実施、図書室での書籍閲覧、放送授業の視聴、客員教員によるゼミナール、サークル活動、同窓会からの支援活動、学生間の交流や刺激的なディスカッション、学習相談などなど、学習センターが有するこれら種々の機能をさらに向上させ、学生の皆さんの勉学・研究のさらなる充実に資するよう、教職員とともに力を注いでいきたいと思っております。

年齢も経験も専門分野も多様なバックグラウンドをもち、学問と誠実に向き合う学生の皆さんがこの東京多摩学習センターでそれぞれの学びを前進させ、その成果を私たちも共有できることを心から楽しみにしています。



東京多摩学習センター客員教授

ふかやま はるひさ  
深山 治久

本年4月より当学習センターの客員教授を拝命することになりました、深山治久です。

私は、1981（昭和56）年に東京医科歯科大学歯学部歯学科を卒業して歯科医師になりました。本部は御茶ノ水駅前なので、こちらのセンターに伺った際の緑豊かなキャンパスに感動しました。ここ数年間、非常勤講師として面接授業を受け持つてきましたが、学生の熱心さに感心していたので、皆さんとのこれからの対面が楽しみです。

歯科医療というと、痛い、待たせる、（高い？）とあまり良い評判が聞こえてきません。そこで、私は卒業以来、痛くない歯科治療、ドキドキしない歯科治療、つまり安心してかかれる歯科治療について研究してきました。その成果の一部を皆さんに紹介するのはもちろんのこと、歯科診療、医療について説明したいと思っております。

たくさんの情報が飛び交っている現在ですが、中には首をかしげたくなるような医療情報も散見されます。賢く医療・歯科医療が受けられるような授業を提供できればと考えています。どうかよろしく願いいたします。

# 退任のご挨拶



東京多摩学習センター客員教授

おおや けいち  
大谷 啓一

5年前の4月に東京多摩学習センターの校門をくぐり立派な校舎に初めて出勤した日を思い出します。夕方、近くの玉川上水の土手を訪れ、まだ残っていた桜と上水のせせらぎを見て、花と緑豊かな一橋学園を新しい勤務地とできたことを幸せに感じました。

校舎内部には学生の皆さんが使用する図書室、学生控室、講義室、ゼミ室、実習室、保健室などもあり、大変立派な設備が整った学習センターでした。所長先生や事務職員の皆様も学生サポートに徹するという姿勢でおられるのが印象的でした。学生の皆様も老若男女、様々な方々でしたが、学習意欲が高いのには驚きました。面接授業の日には朝早くから夕方遅くまで、熱心に授業を受けられて一瞬たりとも聞き逃すまいとする学習態度には感銘いたしました。また天文や茶道、ぶら多摩などに代表されるクラブ活動も活発で、そのまとまりの良さに私自身が学生時代に戻ったかのような気持ちになりました。

5年間という長いようで短く感ぜられる時間を充実して過ごせたのは、皆様の持つ学習への熱い意欲によるものと感謝しております。どうか今後とも東京多摩学習センターでの学習を続けられて、皆様の目標を達成していただければと思います。ありがとうございました。



東京多摩学習センター客員准教授

ひめの あつこ  
姫野 敦子

2014年夏から2019年3月まで、ドイツ文学の古澤先生がご退職のあと、学生さんの学習相談のために東京多摩学習センターに週1回ほど来ていました。当時は元所長の田崎先生が率先してサークル活動、同窓会活動を応援していた時期で、わたしも客員教員としての活動はサークルに参加すること、と考えていたふしもあります。参加したのは、ぶら多摩、同窓会の遠足、江戸文化を楽しむ会、茶道部などで、どれも学生の皆さんの熱意に驚かされました。大学以来のお点前をなんとか思い出せたのも茶道部の皆さんのおかげです。

本務校の都合で、なかなか研修旅行には参加出来ませんでしたが、たまたま沼津への研修旅行に参加でき、沼津の博物館や御用邸、若山牧水記念館など楽しくまた興味深く拝見しました。

また面接授業は2015年の前期から担当し、4回ほど専門分野の「中世歌謡」について楽しく講義をさせていただきました。学生の方から、いろいろ示唆に富んだ意見をいただき、研究にも活かすことができました。楽しい5年間でした。ありがとうございました。



東京多摩学習センター客員准教授

はたの しげゆき  
波田野 茂幸

東京多摩学習センターの客員教員として、1年間皆様からの学習相談を務めさせていただきました。1年続けてこれましたのも、学生の皆様、職員の皆様から温かいお言葉をかけていただけたおかげだと思っております。心よりお礼申し上げます。

臨床心理学へ関心を持たれ、ご自身の経験、活動の場に新たな視点が持てるように学問を通し研鑽に励まれている姿に、私もいつのまにか熱が入り対応することが度々ありました。学習相談の場を通して皆様の学びのスキル向上にいくらかでも貢献できていれば幸いです。

東京多摩学習センターでの活動にはひとまず区切りを頂く結果となりましたが、今後とも皆様の学習活動を応援していく所存であります。どこかでお会いする機会がありましたら、お声かけください。

## 2018年度第1学期卒業証書・学位記授与式



2018年9月30日（日）、2018年度第1学期卒業証書・学位記授与式が開催され、卒業生85名のうち42名が出席されました。なお、東京多摩学習センター所長表彰も同日行われ、対象者31名のうち16名が出席されました。ご卒業・ご受賞、誠におめでとうございます。

### <卒業生からのご感想>

- ・放送大学へ入学したきっかけは、新しい知識を得たいという理由でした。まずはじめに自然と環境コースを卒業し、とても満足の行く学生生活を送ることができました。放送大学の授業も教材も大変学びやすく他の分野についても学習したいという気持ちが強かったため社会と産業コースへ入学し、本日卒業を迎えることができました。
- ・働きながら無理なく単位を取っていきました。ここで学ぶのが楽しくて、約16年かけて卒業しました。学習センターでの学びは心のオアシスでした。生涯学習の一環として人間と文化コースに来期に再入学を検討しています。
- ・放送大学に選科で入学して、そして3年次編入して合計18年間、とても居心地がよく、継続入学を決めました。大勢の方がその道を選ばれていることを知り、うれしいです。今日は通過点、いろいろとありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

## 2018年度第2学期入学者の集い



2018年10月7日（日）、2018年度第2学期入学者の集いが開催され、新入生733名のうち73名が出席されました。ご入学、誠におめでとうございます。

### <出席者からのご感想>

- ・学長メッセージに始まり、東京多摩学習センター所長の祝辞、他先生方のごあいさつをいただき、学生になった喜びをかみしめています。
- ・今回初めての通信教育を受ける事になり、書面だけでイメージできなかった事がつながったので助かりました。
- ・ゼミ・図書館の利用・研修旅行・サークルと、様々な活動や学習の機会がある事がわかり大変心強く感じました。
- ・学長のメッセージをお聞きして、自己革新を目標に学習を進めて参りたいと思いました。通信制大学ですが、学習の悩みについて相談できる窓口として学習センターを活用させていただければ幸いです。

## 2019年度第1学期より面接授業が変わります！

- ◆原則として1コマの授業時間が85分から90分（最後の8時限目は45分）に変更となります。  
\*各学習センターの時間割表も変更となりますので、ご確認ください。

【東京多摩学習センターの面接授業実施時間帯】

(変更前)	(変更後)
1時限 10:00~11:25	1時限 9:50~11:20
2時限 11:40~13:05	2時限 11:35~13:05
3時限 14:10~15:35	3時限 14:05~15:35
4時限 15:50~17:15	4時限 15:50~17:20

- ◆授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等\*の時間が設定されます。  
\*筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。（シラバスに記載されているので、必ずご確認ください。）  
\*フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポートがない場合もあります。
- ◆成績評価が放送授業、オンライン授業と同じく合・否 ⇒ ④～Eの6段階に変更となります。

評定	評語	筆記試験の点数【目安】
④	基準を大きく超えて優秀である	100点～90点
A	基準を超えて優秀である	89点～80点
B	望ましい基準に達している	79点～70点
C	単位を認める最低限の基準に達している	69点～60点
D	単位を認める最低限の基準を下回る	59点～50点
E	基準を大きく下回る	49点～0点

- \*D、Eは不合格。3回以上欠席の場合は、評価を行わない（「-」と表記）。
- なお、原則として全講義出席を前提。
- ◆シラバスに面接授業「受講前の準備学習等」について記載されます。

## 2019年4月より図書サービスが一部変わります！

- ◆2019年4月以降、図書の室外貸出は附属図書館（本部）で一括して行います。（群馬、埼玉、東京足立、神奈川SCは除く） 学習センター配架図書は、センター内での閲覧は可能ですが、貸出はできません。
- ◆本部から取り寄せた図書を学習センターで貸出・返却することは引き続き可能です。  
\*利用方法の詳細は放送大学ホームページ、リーフレット、学習センターの掲示等でご確認ください。

## 2019年度第1学期多摩ゼミ開講予定

2019年度第1学期の多摩ゼミ（東京多摩学習センターの所長・客員教授の指導のもと行われる自主勉強会）のテーマと担当講師の予定をお知らせします。皆様のご参加お待ちしております。  
※以下の内容は2019年3月1日現在のものです。詳細については別途、東京多摩学習センターのホームページ・掲示等でお知らせしますのでご確認ください。

- |                        |   |
|------------------------|---|
| ◆教材選択の基準を考える           | 講師：五味 政信 先生（東京多摩学習センター所長・一橋大学名誉教授）          |
| ◆プログラミングで遊ぶーセルオートマトン編ー | 講師：山崎 秀記 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学名誉教授）        |
| ◆『ベルリンの幼年時代』を読む（その3）   | 講師：久保 哲司 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院社会学研究科教授） |
| ◆『ダブリナーズ』を読む③          | 講師：金井 嘉彦 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院法学研究科教授）  |
| ◆プルーストを読む⑤             | 講師：中野 知律 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院社会学研究科教授） |

## 2018年度第2学期公開講演会

テーマ：多摩の自由民権運動が生んだ「五日市憲法」の先駆性—土蔵から発見されて50年をふりかえって—  
講師：新井 勝紘（元専修大学教授 高麗博物館館長） 2019年2月10日（日）開催



<参加者アンケートより>

- ・五日市憲法の名前は聞いたことはあったけれど、内容は知らなかったもので、とても面白かったです。
- ・150年も前に五日市の地で、憲法なるものが市民の中で論議され作られ、それが50年前に発見されたことに驚きと興奮を覚えます。
- ・「教育の自由」について、深く認識させられました。
- ・五日市憲法は、日本の歴史上、最も重要なものの一つだと思います。新井先生と、この憲法との出会いは、とてもドラマティックであったと感じました。
- ・五日市憲法については民主的で先進的なものと認識しており、その骨子を改めて学習できました。多摩の誇りだと思います。

テーマ：文学の中の数学  
講師：飯高 茂（学習院大学名誉教授）

2019年2月24日（日）開催



<参加者アンケートより>

- ・ユニークなキャラクターをお持ちで、独特な語り口で楽しい講演でした。
- ・諸現象に対する数学的アプローチの面白さと明快さと実用性に目を開かれました。
- ・ギャンプルに絡めたお話が楽しかったです。
- ・インド、中国などの数字を知ることができて良かったです。
- ・素晴らしい講義でした。これから世の中を“数学の視点”で見えていくようにします。
- ・東京多摩学習センターに飯高先生がいらっしゃることは、それだけで数学を学ぼうとする時の勇気になります。

## 2018年度学生研修旅行

2018年10月11日（木）、2018年度学生研修旅行が開催され、学生19名・教職員5名が参加しました。

今回の行き先は小河内ダム（奥多摩湖）・奥多摩水と緑のふれあい館・玉堂美術館・小澤酒造で、東京都青梅市及び奥多摩町の歴史・文化に触れ学生・教職員の親睦を深める有意義な旅行となりました。

<参加者アンケートより>

- ・小河内ダムの大きさ、美しさに感激です。ふれあい館の3Dシアターも初めての経験でとても楽しめました。
- ・玉堂美術館はとても雰囲気がある場所でした。
- ・小澤酒造ではお酒造りの工程がわかって良かった。
- ・近くても行けない所でしたので良いチャンスでした。
- ・参加者の皆さんと話ができて、私も明日から、いや今日から頑張ろうと思いました。



3年前、この職に就いて何よりも驚嘆したのは放送大学諸姉兄弟の学びに対するひたむきさです。学ぶことが生きるに欠かせぬ営為として、これほど強く、かつ美しいことに改めて気づけたことを至上の喜びとして味わいました。

それに比して、巷では昨今、データや文書の「客観性」「公開性」が完全に死語となり、現場当事者の倫理が疑われる「文書隠匿」「文章改竄」「不適切調査」が蔓延。「忖度」なる言葉が飛交うことで、言語コミュニケーションの意義と価値は著しく貶められる有様で、真実味のない謝罪を口に、しばし身を低くしてさえいれば・・・とタカをくくって済ます、そうした状況下では、権力の驕りと不正に対する庶民と社会の激怒はまったく無力に見えます。しかし、言葉も記憶も、そして沈黙すら軽視され、社会の尊厳を支える力が失われつつある、いえ、奪われかけている現在だからこそ、真摯で強靱な学びが希求されている、と感じるのは私だけではないはずです。上に記したひたむきさとはその意味でした。



最後に、厚かましくも昭和ノスタルジーの一枚の写真をご覧に入れます。わが幼少時の最大イベントの一つは、毎月、福島から仕事のために上京していた祖父に連れられて都内を散歩することでした。その折、デパートの屋上でゾウの背中に乗せられた光景（可愛いらしい!）。正確な年月日は不明ですが、ポムという名前のインド象が生まれ故郷のタイから下関、新橋経由で日本橋高島屋に到着し、高さ33メートルの屋上へクレーンで吊り上げてもらったのは1950年5月、体重560キロ、たかちゃんと改名された彼女は多くの芸を披露して大人気を博しました。1954年に上野動物園に嫁入りを果たし、その後、多摩動物園に移って1990年に亡くなりました（あらい静子氏の文と絵『デパートのうえのたかちゃん』（2012））。

写真に戻ると、この幼稚園児に注目、表情と手のあげ方に映る不安感は今なお微かに残ります。この汚れなき挙手にてお別れの挨拶とします。今は、多くの学生の方々、教職員の皆さんとの実りある《おつきあい》の無数のシーンが脳裏を走ります。末筆ながら、この間、本ニューズレター編集作業をこなしてくれた小林学兄、毎号、魅力溢れた表紙画を準備していただいた齋藤画兄に頓首。

新所長に限りなきご支援を!!! 東京多摩学習センターが最高の学びの拠点であり続け、さらに発展することを、紙上から失礼ですが、心から祈念します。

## ■今号の表紙について

<作品詳細>「多摩の風景6－高尾山－」2019年、277×190、水彩紙、鉛筆、水彩  
 <作者>東京多摩学習センター図書室・視聴学習室担当職員 齋藤文孝（さいとう ふみたか）  
 <絵について>

雪降る中、親子の猪を見た。杉やもみの大樹に圧倒され、朝に見た山ゆりが心に残る。高尾山は奈良時代より祈りの御山として守られてきた。

生命が創り出す多様な豊かさとそこを流れる道理を仰ぎ尊び生命の尊厳とは何かを問う。はるか遠くに見える人々のくらしは海をこえて続いている。世界中から訪れる人々の心に、多くの恩恵を与え続ける御山である。

（図書係：齋藤）

## 【編集後記】

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。本年4月、所長をはじめ10名の異動がありました。教職員一同気持ちを新たに、学生の皆様のサポートに努めていく所存です。

末筆ではございますが、玉稿をお寄せいただいた先生方、各行事アンケートにご回答いただいた各位に御礼申し上げます。

（総務係：小林）

# 2019年度第1学期カレンダー(教養学部・修士選科生・修士科目生)

注)大学院全科生は『研究指導履修の手引』・『学生生活の葉』をあわせてご参照下さい。

## 4月

月	火	水	木	金	土	日
1 閉所日	2	3	4	5	6 入学者の つどい	7 同窓会 講演会
8 閉所日	9	10	11	12	13 面接授業 空席発表	14
15 閉所日	16	17	18	19 面接授業追加 登録抽選会	20	21
22 閉所日	23 臨時 閉所日	24	25	26	27	28
29 昭和の日	30 退位の日					

## 7月

月	火	水	木	金	土	日
1 閉所日	2	3	4	5	6	7
8 閉所日	9 臨時 閉所日	10	11	12	13	14
15 海の日	16	17	18	19 単位認定試験 (大学院)	20 単位認定試験 (大学院)	21 単位認定試験 (学部)
22 閉所日	23 単位認定試験 (学部)	24 単位認定試験 (学部)	25 単位認定試験 (学部)	26 臨時 閉所日	27 単位認定試験 (学部)	28 単位認定試験 (学部)
29 閉所日	30 臨時 閉所日	31				

## 5月

月	火	水	木	金	土	日
夏季集中型募集受付 看護:5/1~5/31 司書:5/1~6/7	1 即位の日	2 休日	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	
6 閉所日	7	8	9	10	11	12
13 閉所日	14 通信指導 提出開始 (web)	15	16	17	18	19
20 閉所日	21 通信指導 提出開始 (郵送)	22	23	24	25	26
27 閉所日	28	29	30	31		

## 8月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5 閉所日	6	7	8	9	10	11 山の日
12 閉所日	13 夏季臨時閉所日 8/13~15	14	15 科目登録申請 web&15~31 郵送&15~30	16 卒研 履修申請 8/16~22	17	18
19 閉所日	20	21	22	23	24 教員免許更新 講習試験	25
26 閉所日	27	28	29	30	31 2019-2 学生募集期限 ①最終日	

## 6月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 閉所日	4 通信指導 提出期限 (最終日)	5	6	7	8	9 卒研 がけ
10 閉所日	11	12	13	14	15 2019-2 学生募集開始	16
17 閉所日	18	19	20	21	22	23
24 閉所日	25	26	27	28	30	

## 9月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 閉所日	3	4	5	6	7	8
9 閉所日	10	11	12	13	14	15
16 敬老の日	17 臨時 閉所日	18	19	20 2019-2 学生募集期限 ②最終日	21	22
23 秋分の日	24 臨時 閉所日	25	26 図書室 閉室	27 看護夏季集中 単位認定試験	28	29 学位記 授与式
30 閉所日	休学・復学・退学履修切日					

(注1)このカレンダーは2019年3月末時点のものです。日程等の変更があった場合は、学習センターHP・センター内の掲示板等でお知らせいたします。